

Q 高知龍馬空港からA B C D E
で海外旅行も可能に。

ヨコ 植物の軸の部分。
義理に背くこと。
地中海東部の海域。海。
点心とヤム。
固いものに穴をあけること。
口紅。

かまどのごと。
手間いらずの料理。
タテ 鍋などによく使われるハタ科の魚。
うきしずみ。
照明の強さの単位。
鍵盤楽器。
鉄道の軌道の幅。または測定器具の総称。
背負う袋。
冗談。お笑いネタ。

締め切り / 平成16年 5月17日 必着
あて先 / 783-8501 南国市大桶甲2301
南国市企画課親子クイズ係
賞品 / 正解者の中から抽選で、5人に
図書券を贈呈

第383回親子クイズの答えは、
「ヨシダシゲル」でした。
応募総数 / 68通 正解率 / 100%

383回解答

ラ	ド	セル
ム	ダ	ノナイ
ネ	サ	スカヌ
イ	ヨ	タゲタ
シ	カル	シデ

【第383回当選者】

西田千枝子さん(駅前町)
百田里都子さん(十市)
公文みどりさん(幸町)
柳瀬美代さん(久礼田)
佐竹八重子さん(大桶甲)

親子クイズは、広報委員が南国市に関する
ことを毎月順番に考えています。

市民からのお便り

これまで広報は見たことなかったけど、社会人になったので少しは見ようかなと思っています。

第16回 南国市俳句大会

受賞作品紹介



3月7日、大篠公民館で、「第16回南国市俳句大会」が行われました。受賞作品の一部を紹介いたします。

【市長賞】

山姥の ケイタイが鳴る 花の昼
中村 竹子(後免町)

【議長賞】

余寒なお 人の温みの ペン借りる
中内かず子(高知市)

【教育長賞】

春棚田 一枚一枚にある 呼び名
山本 和子(大桶乙)

【県俳連会長賞】

遠野火の 闇に昭和が うずくまる
青木 良繁(高知市)

【大会賞】

深梅の 耳の中にも 水流る
森 武司(大桶甲)

鯨鯨の 口を覗きし 嫁姑
橋本 純子(西野田町)

転がって 冬瓜納屋で 石となる
石本 和子(物部)

閉校の 知らせが届く 路のとう
野島 扶美(大桶甲)

職業欄に 百姓と書き 頬被り
美崎 明(植野)

事業所・企業統計調査

商業統計調査

サービス業基本調査 にご協力を！

6月1日現在で、事業所・企業統計調査など3調査が同時に実施され、市内でも法人・個人を問わず全ての民営事業所が対象となります。

これらの調査は「統計法」に基づいて実施され、統計上の目的以外に使用することは固く禁じられています。調査結果は、中小企業対策や環境対策など多方面に活用されます。

5月下旬より、高知県知事に任命された調査員が調査票を持って伺いますので、ご協力をよろしく願います。

お問い合わせは、企画課広報統計係 (880-6553) まで





ふれあいが大切!



ひろし
杉村 寛さん(片山)

家族は妻と息子、娘の4人家族です。ガソリンスタンドを経営しています。最近セルフのガソリンスタンドが増えていますが、人と接するのが好きなので、これからもお客さんと直接接しながら仕事ができればと思います。趣味は溪流釣り。たまの休みにアメゴなどを釣りに行き、大きいものが釣れると魚拓もとったりするんですよ。夢は、長期の休みが取れたら、夫婦で中東など問題を抱えた国を訪れて、平和の大事さを感じてみたいですね。

消防団の活動もしているという杉村さん。終始にこやかに取材に応じてくれ、さわやかな笑顔が印象的でした。



えつこ
野村 悦子さん(物部)

孫がかわいい!

6人家族で孫と一緒に暮らしています。仕事は、兼業で農業をしている夫を手伝っています。夫が定年退職を迎え、孫がもう少し大きくなれば、家族みんなで温泉旅行に行ってみたいです。日頃の楽しみは、菊を作ることと孫の相手。昔は手芸もしていました。今は孫といると時間がたつのも忘れて遊んでいますね。

南国市は、若い人がもつと農業に携われる環境ができればいいと思います。「孫はすっかり甘やかさなければなりません」と野村さん。お孫さんの話になると優しいおばあちゃんの顔になります。

市民からのお便り

広報が届くとすぐに親子クイズにチャレンジしています。これからも楽しくチャレンジします。

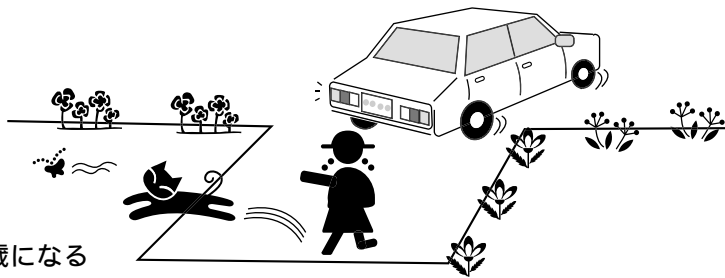
交通安全対策

検証

こうして事故は起こった

CASE 1

～自宅駐車場での事故～



事故の概要

Aさんは、いつもどおり保育所に3歳になる長女Bちゃんを車で迎えに行き帰宅しました。自宅玄関前の路上でBちゃんを降ろし、そのまま自宅脇の駐車場に入れようと、一端前進した後、バックを始めました。ところが、Bちゃんが猫を追いかけて車の後方に回ったことに気づかずバックしたため、Bちゃんに衝突して、Bちゃんは重傷を負ってしまいました。

事故の原因

Aさんが後ろの安全を確かめずにバックしたことが原因です。

この事故から学ぶこと

車には死角がありますが、特にバックの時は多くなります。

子どもは思いがけない行動をします。車に乗るときは先に子どもを乗せ、降りるときは自分が車を降りるまで、子どもは降ろさないようにしましょう。

資料提供：高知県県民生活課交通安全対策班

8 2 3 9 3 1 9